

NEJIREBANE, No. 101, 30. Jun. 2002

京都府で採集されたアリヅカムシ

野村周平

〒169-0073 東京都新宿区百人町3-23-1 国立科学博物館動物研究部

水野弘造

〒611-0002 宇治市木幡熊小路19-35

1. はじめに

筆者の一人、野村は、本誌95号において、京都府下におけるアリヅカムシの記録を総括し、いくつかの種に実際に京都で採集されたかどうかの疑問が残るものの、42種が記録されているとした。水野は、京都府の甲虫相を解明する過程で、高橋 敏氏、伊藤建夫氏、林 靖彦氏、大石久志氏、荒田弥五郎氏らが採集した多数のアリヅカムシ標本をとりまとめた。野村はこの標本について同定、計数を行い、以下に示すような結果を得たので報告する。本稿を草するにあたり、貴重な標本の提供を頂いた上記の各氏に厚く御礼申し上げる。

以下のリストにおいて、採集者は次のように略記した：HO：大石久志；KM：水野弘造；ST：高橋 敏；TI：伊藤建夫；TK：岸井 尚；YA：荒田弥五郎；YH：林 靖彦。また、採集地名が記されていないデータは、前のデータと同じである。野村（2001）により、京都府からすでに知られている種以外の種については、種名末尾に*印を付した。

2. 京都府産アリヅカムシ採集目録

BYTHINOPECTITAE シュモクアリヅカムシ上族

1. *Parapyxidicerus carinatus* K. SAWADA シュモクアリヅカムシ* (図1)

ハネカクシに似た体型をもつ特徴的なアリヅカムシで、本州、四国、九州に広く分布する。森林落葉中によく発見されるが個体数は多くない。

<採集データ> 1♀, 舞鶴市高野台, 8. IX. 1997, YA; 1♀, 27. IX. 1998, YA; 1♀, 宇治市天ヶ瀬, 11. IX. 1993, ST; 1♀, 同五雲峰, 25. VIII. 1990, ST.

2. *Euplectomorphus* ? sp. 1*

ヒメシュモクアリヅカムシ (*Nipponozethus* 属) に似るが、触角の節数が異なる。日本からまだ正式には記録されていない属で、採集例も非常に少ない。

<採集データ> 1♀, 船井郡瑞穂町井尻, 23. XI. 1989, YH.

EUPLECTITAE ナガアリヅカムシ上族

3. *Pseudozibus longicollis* JEANNEL ホソヒメアリヅカムシ* (図2)

1ミリ前後の微小な種で、平地の常緑樹林に生息する。

<採集データ> 2♀♀, 宇治市天ヶ瀬, 26. IV. 1997, ST.

4. *Philoscotus longulus* K. SAWADA ナガオチバアリヅカムシ*

中部以西の本州に分布し、森林落葉中に産する。

<採集データ> 4♀♀, 船井郡瑞穂町井尻, 23. XI. 1989, YH; 2♀♀, 宇治市天ヶ瀬, 25. VI. 1994, ST; 3♂♂2♀♀, 26. IV. 1997, ST; 1♂4♀♀, 同五雲峰, 21. V. 1994, ST; 1♂1♀, 22. V. 1994, ST; 2♀♀, 16. XI. 1996, ST; 2♀♀, 19. VII. 1997, ST; 1♀, 相楽郡和東町鷲峰山, 16. VI. 2000, KM.

5. *Philoscotus persimilis* NOMURA オチバアリヅカムシ* (図3)

前種に似るが、やや小型である。近畿地方のみから知られている。

<採集データ> 1♀, 京都市左京区大文字山, 27. III. 1988, TI; 1♀, 宇治市天ヶ瀬, 26. IV. 1997, ST; 1♀, 11. IX. 1993, ST.

6. *Philoscotus brevis* K. SAWADA マルガタオチバアリヅカムシ

本州のほぼ全域、四国、九州に分布するが、四国のものはやや問題がある。京都府内からは、瑞穂町戸津川からすでに記録されている。

<採集データ> 1♂, 船井郡瑞穂町質志, 26. V. 1984, YH; 5♀, 京都市左京区花脊峠, 4. VII. 1987, TI; 1♀, 同佐々里峠, 23. VII. 1987, TI; 1♀, 八幡市男山, 26. V. 1985, TI.

BATRISITAE ムネトゲアリヅカムシ上族

7. *Batrisesodes (Excavodes) dorsalis* JEANNEL? タカオトゲアリヅカムシ*

その名の通り、東京高尾山から記載された種で、東北地方から近畿地方まで分布するようだ。中国、四国、九州には近似の未記載種が産する。自然のよく残された広葉樹林に比較的普通に見られる。

<採集データ> 1♂1♀, 京都市左京区貴船, 15. IV. 1956, TK; 2♂1♀, 京都市左京区鞍馬山, 9. VIII. 1985, TI; 2♀, 28. V. 1994, TI.

8. *Batrisesodes (Excavodes)* sp. 1*

前種に近縁な種であるが、頭部に著しく特徴的な突起があり、極めて顕著な未記載種である。野村は以下の記録以外には見たことがなく、その分布状態には非常に興味を持たれる。

<採集データ> 2♂2♀, 宇治市天ヶ瀬, 11. IX. 1993, ST; 1♀, 11. XI. 1995, ST.

9. *Batrisodes (Excavodes) stipes* (SHARP) アラメトゲアリヅカムシ (図4)

本種のタイプ産地は「日本」とのみ記録されており、詳しい原産地は不明である。本州中部から近畿地方に分布し、特に日本海側ではかなり普通に見られる。瑞穂町質志から雌個体のみで記載された *Speobatrisodes coiffaiti* JEANNEL という種は本種であった (NOMURA, 2001b)。

<採集データ> 5♀, 北桑田郡美山町芦生演習林, 21. X. 1990, HO; 2♀, 同京北町周山, 3. XI. 1979, TI; 1♂1♀, 京都市左京区花脊峠, 4. IX. 1987, TI; 1♀, 同佐々里峠, 23. VII. 1987, TI; 2♂, 同貴船, 15. IV. 1956, TK.

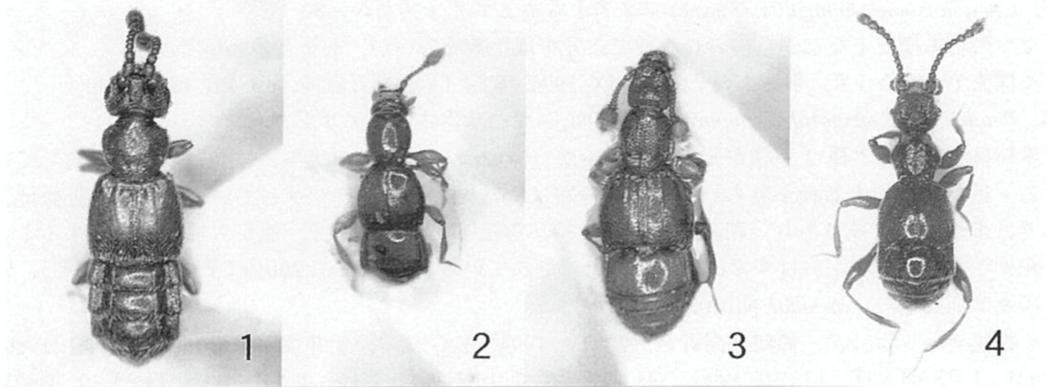


図1-4: 1. シュモクアリヅカムシ; 2. ホソヒメアリヅカムシ; 3. オチバアリヅカムシ; 4. アラメトゲアリヅカムシ

10. *Batrisodes (Excavodes) sp. 2**

B. (E.) ornatifrons (SHARP) に近縁な種である。この種の近縁種群には、体型や雄の二次性徴に微妙な地域変異が認められる一方、雄交尾器には特徴が現れないため、種のカテゴリが非常に難しい。

<採集データ> 1♂, 京都市伏見区醍醐山, 13. II. 1993, KM.

11. *Batrisodes (Excavodes) sp. 3**

本種は *B. (E.) acutifrons* JEANNEL に近縁であるが、これも *ornatifrons* 種群と同様の変異性をもっており、分類の難しい群である。

<採集データ> 1♂, 北桑田郡美山町芦生演習林長治谷, 30. VI. 1951, TK; 1♂, 宇治市天ヶ瀬, 18. V. 1996, ST.

12. *Batristilbus concolor* (SHARP) ツヤチイロアリヅカムシ

野村 (2001) で報じた「京都市東山」の記録の元になった標本と思われる。

<採集データ> 2♀, 京都市東山区今熊野, 27. IV. 1990, HO.

13. *Batristilbus politus* (SHARP) エグリチイロアリヅカムシ (図5)

府内からは「京都周辺」および京都市貴船から知られている。

<採集データ> 1♂, 京都市左京区鞍馬山, 23. V. 1982, 正木清; 1♂, 同貴船, 22. IV. 1956, 庄司武夫; 1♀, 八幡市男山, 11. V. 1980, TI; 1♂, 宇治市天ヶ瀬, 11. IX. 1993, ST; 4♀, 同五雲峰, 28. V. 1994, ST; 2♀, 綴喜郡井手町, 3. V. 1996, ST.

14. *Basitrodes longulus* JEANNEL ナガムネトゲアリヅカムシ (和名新称) * (図6)

岐阜県金華山から記載された大型種で、中部～近畿地方から知られているが、個体数は少ない。

<採集データ> 1♂, 宇治市天ヶ瀬, 8. V. 2000, KM; 1♂, 京都市左京区貴船, 5. VI. 1989, HO.

15. *Basitrodes* sp. 1*

<採集データ> 2♀, 北桑田郡美山町芦生演習林, 31. V. 1992, KM; 1♂, 京都市左京区貴船, 9. III. 1951, 野淵輝; 2♀, 同鞍馬山, 13. IV. 1955, TK; 1♀, 22. IV. 1956, TK.

16. *Basitrodes* sp. 2*

<採集データ> 1♂, 京都市左京区鞍馬山, 27. III. 1982, 正木清; 1♂, 同貴船, 7. IV. 1955, TK; 2♂, 八幡市男山, 29. IV. 1980, TI.

※*Basitrodes* sp.

<採集データ> 1♀, 京都府舞鶴市槇山, 21. IV. 2000, 安川謙二.

17. *Coryphomodes spinicollis* (SHARP) フタアナムネトゲアリヅカムシ*

マツの枯木樹皮下などから得られる種で, 分布は比較的広いが, あまり多い種ではない.

<採集データ> 1♀, 宇治市天ヶ瀬, 3. IX. 1994, ST; 1♀, 同五雲峰, 13. VII. 1996, ST.

18. *Petaloscapus temporalis temporalis* JEANNEL エラハリムネトゲアリヅカムシ

本属は日本から7種2亜種が知られているが(NOMURA, 2001b), 実際には40種以上が分布している. 近畿地方でも数種が見られ, 各種の分布は複雑にオーバーラップしている. 本種は近畿地方では最も普通な種であり, 和名の通り, 後頬が角張っていることで, 他から容易に区別することができる. 京都府からはすでに数カ所で記録されている(NOMURA, 2001a; 野村, 2001参照). 四国産は別亜種*P. t. yoshidai* NOMURA とされる.

<採集データ> 1♂, 舞鶴市高野台, 22. IV. 1994, YA; 2♂, 船井郡瑞穂町井尻, 23. XI. 1989, YH; 1♂, 同大朴, 13. VII. 1996, YH; 1♂, 京都市左京区花脊峠, 4. VII. 1987, TI; 1♂, 同鞍馬山, 27. III. 1982, 正木清; 1♂3♀, 9. VIII. 1985, TI; 1♂, 同広河原, 23. VII. 1987, TI; 1♂, 同東山区今熊野, 29. XI. 1999, ST; 2♂1♀, 八幡市男山, 15. XII. 1984, TI; 1♂3♀, 宇治市天ヶ瀬, 11. IX. 1993, ST; 2♂1♀, 26. IV. 1997, ST; 1♀, 10. V. 1997, ST; 1♂1♀, 同五雲峰, 25. VIII. 1990, ST; 4♂11♀, 28. VIII. 1993, ST; 1♂, 1. XI. 1997, ST; 4♀, 15. V. 1994, ST; 2♀, 27. XII. 1997, ST; 1♂, 同木幡, 10. V. 1997, KM; 1♂2♀, 相楽郡和束町鷲峰山, 16. VI. 2000, KM.

19. *Petaloscapus sasajii* NOMURA ササジムネトゲアリヅカムシ*

NOMURA (2001a) により, 福井県と大阪府から記載された種で, 京都府からは初記録となる.

<採集データ> 1♂, 八幡市男山, 16. VI. 1985, TI.

20. *Petaloscapus* sp. 1*

明らかな未記載種で, 以下の1地点のみで採集されている.

<採集データ> 2♂3♀, 八幡市男山, 30. IV. 1979, TI; 3♂2♀, 15. XI. 1981, TI; 2♂, 28. XI. 1982, TI; 1♂1♀, 25. III. 1984, TI; 1♂1♀, 26. VIII. 1984, TI; 1♂, 15. I. 1985, TI; 1♂, 19. I. 1985, TI; 1♂1♀, 17. II. 1985, TI; 1♂, 16. VI. 1985, TI; 1♂, 31. VIII. 1985, TI; 1♂, 22. II. 1986, TI; 1♂, 18. X. 1986, TI; 2♂1♀, 5. III. 1988, TI.

21. *Petaloscapus* sp. 2*

同じく未記載種であり, 雄交尾器形態が若干異なる近似個体群が, 北陸から東北地方北部へ至る日本海側に広く細長く分布している.

<採集データ> 1♂, 舞鶴市高野台, 18. V. 1995, YA; 1♂, 2. VII. 2000, YA; 1♂, 宇治市天ヶ瀬, 18. I. 1997, KM; 1♂, 4. IV. 2000, KM; 1♂, 3. VIII. 2000, KM; 1♂, 相楽郡精華町祝園, 20. VI. 2000, KM.

※*Petaloscapus* sp.

<採集データ> 1♀, 舞鶴市菅坂峠, 7. V. 2000, 安川謙二; 1♀, 同養老山, 25-26. V. 2000, 安川謙二; 1♀, 船井郡瑞穂町小野, 18. IV. 1987, YH; 1♀, 北桑田郡美山町芦生演習林, 15. VIII.

- 1992, KM; 2♀, 京都市左京区久多尾越, 25. IV. 1993, ST; 1♀, 同大文字山, 27. III. 1988, TI; 3♀, 同峰床山八丁平, 19. IX. 2000, KM; 1♀, 八幡市男山, 11. II. 1985, TI; 3♀, 宇治市天ヶ瀬, 5. IX. 2000, KM; 1♀, 綴喜郡宇治田原町鷲峰山, 5. VIII. 1985, TI.
22. *Batrissoplilus raffrayi* JEANNEL ラフレイフサヒゲアリヅカムシ
「京都付近」がタイプ産地となっている。
〈採集データ〉1♂, 舞鶴市神崎海水浴場, 29. XI. 2000, 安川謙二; 1♂2♀, 綴喜郡井手町, 23. IX. 1990, ST.
23. *Batrissoplilus sagamianus* NOMURA サガミフサヒゲアリヅカムシ
亀岡市稗田野からの記録がある。
〈採集データ〉1♂, 京都府舞鶴市高野台, 24. IX. 1995, YA; 1♂, 12. VIII. 1997, YA; 1♂, 16. VIII. 1998, YA; 1♂, 11. VIII. 1999, YA; 1♂, 1. IX. 1999, YA.
24. *Batrissoplilus galloisi* JEANNEL ガロアフサヒゲアリヅカムシ* (図7)
関東地方では、低湿地に多く見られる種で、灯火でもよく得られる。
〈採集データ〉1♂, 舞鶴市高野台, 19. VIII. 1994, YA; 1♂, 船井郡瑞穂町井尻, 23. XI. 1989, YH; 1♂3♀, 八幡市男山, 16. VI. 1985, TI; 3♂4♀, 4. X. 1986, TI.
- ※*Batrissoplilus* sp.
〈採集データ〉1♀, 北桑田郡美山町芦生演習林, 21. X. 1990, HO; 1♀, 八幡市男山, 7. XII. 1985, TI; 1♀, 宇治市五雲峰, 16. XII. 1995, ST.
25. *Batriscenellus (Batriscenellinus) uenoi* NOMURA ウエノツヤアリヅカムシ
府内では「京都」から記録されているが、詳しい産地は不明である。
〈採集データ〉5♂1♀, 京都市嵐山, 21. VI. 1954, TK; 4♂2♀, 京都市保津峡, 21. VI. 1954, TK.
- ※*Batriscenellus* sp.
〈採集データ〉1♀, 京都市保津峡, 5. IV. 1952, TK; 1♀, 17. III. 1953, TK; 1♀, 綴喜郡井手町, 23. IX. 1990, ST.
26. *Batriscenaulax modestus* (SHARP) ハケスネアリヅカムシ
平地の二次林などに普通に見られる種で、近似の次種と混棲することもある。雌個体の同定は極めて困難であるため、雄個体のみ以下のように区別した。京都府内では亀岡市稗田野から記録されている。
〈採集データ〉1♂, 舞鶴市高野台, 24. IX. 1995, YA; 1♂, 18. IX. 1996, YA; 1♂, 31. VIII. 1997, YA; 1♂, 20. VI. 1998, YA; 1♂, 13. IX. 1998, YA; 1♂, 14. IX. 2000, YA; 5♂, 船井郡瑞穂町上大久保北山, 1. V. 1999, YH; 3♂, 八幡市男山, 25. XI. 1984, TI; 3♂, 15. I. 1985, TI; 2♂, 19. I. 1985, TI; 4♂, 26. I. 1985, TI; 1♂, 27. IV. 1985, TI; 2♂, 31. VIII. 1985, TI; 9♂, 4. X. 1986, TI; 1♂, 18. X. 1986, TI; 2♂, 6. XII. 1986, TI; 1♂, 7. XII. 1986, TI; 1♂, 宇治市天ヶ瀬, 11. IX. 1993, ST; 1♂, 同仏徳山, 30. XII. 1992, KM.
27. *Batriscenaulax longipes longipes* JEANNEL ナガスネアリヅカムシ
京都府内数カ所から記録されている。
〈採集データ〉1♂, 京都市大文字山, 27. III. 1988, TI; 1♂, 八幡市男山, 20. III. 1984, TI; 1♂, 21. IV. 1984, TI; 1♂, 26. VIII. 1984, TI; 5♂, 25. XI. 1984, TI; 7♂, 1. XII. 1984, TI; 3♂, 15. XII. 1984, TI; 14♂, 15. I. 1985, TI; 14♂, 19. I. 1985, TI; 13♂, 26. I. 1985, TI; 4♂, 2. II. 1985, TI; 7♂, 11. II. 1985, TI; 4♂, 17. II. 1985, TI; 2♂, 16. VI. 1985, TI; 7♂, 31. VIII. 1985, TI; 2♂, 22. II. 1986, TI; 12♂, 4. X. 1986, TI; 9♂, 18. X. 1986, TI; 1♂, 23. XI. 1986, TI; 9♂, 7. XII. 1986, TI; 9♂, 5. III. 1988, TI; 1♂, 宇治市天ヶ瀬, 18. I. 1997, KM; 3♂, 同

五雲峰, 15. V. 1994, ST; 1♂, 31. III. 1994, ST.

※*Batriscenaulax* sp.

1♀, 八幡市男山, 11. V. 1980, TI; 1♀, 20. III. 1984, TI; 2♀, 21. IV. 1984, TI; 1♀, 26. VIII. 1984, TI; 7♀, 25. XI. 1984, TI; 7♀, 1. XII. 1984, TI; 6♀, 15. XII. 1984, TI; 18♀, 15. I. 1985, TI; 15♀, 19. I. 1985, TI; 13♀, 26. I. 1985, TI; 4♀, 2. II. 1985, TI; 1♀, 11. II. 1985, TI; 6♀, 17. II. 1985, TI; 3♀, 27. IV. 1985, TI; 1♀, 26. V. 1985, TI; 2♀, 16. VI. 1985, TI; 10♀, 31. VIII. 1985, TI; 1♀, 7. XII. 1985, TI; 11♀, 4. X. 1986, TI; 11♀, 18. X. 1986, TI; 2♀, 6. XII. 1986, TI; 3♀, 7. XII. 1986, TI; 10♀, 5. III. 1988, TI; 1♀, 4. V. 1996, TI; 1♀, 宇治市天ヶ瀬, 18. I. 1997, KM; 6♀, 同五雲峰, 15. V. 1994, ST; 1♀, 16. XII. 1995, ST; 1♀, 25. X. 1997, ST; 1♀, 27. XII. 1997, ST; 2♀, 同仏徳山, 30. XII. 1992, KM.

28. *Batrisceniola dissimilis* (SHARP) アナズアリヅカムシ

本州の山地から低山地にかけて最も普通な種である。府内数カ所から、すでに記録されている。

<採集データ> 7♂, 船井郡瑞穂町上大久保北山, 1. V. 1999, YH; 1♀, 同井尻, 2. VII. 1989, YH; 1♂2♀, 23. XI. 1989, YH; 2♀, 同小野, 18. IV. 1987, YH; 2♀, 14. V. 1994, YH; 3♂2♀, 同水呑, 23. IV. 1994, YH; 6♂2♀, 「瑞穂町」, 14. V. 1994, YH; 1♂, 北桑田郡美山町芦生演習林, 21. X. 1990, HO; 1♂, 5. IX. 1992, KM; 2♂1♀, 15. VIII. 1992, KM; 2♂3♀, 22. VIII. 2000, KM; 1♂1♀, 同京北町周山, 3. XI. 1979, TI; 14♂8♀, 京都市左京区花脊峠, 4. VII. 1987, TI; 5♂1♀, 4. IX. 1987, TI; 12♂8♀, 2. X. 1987, TI; 16♂26♀, 20. X. 1987, TI; 9♂15♀, 6. XI. 1989, TI; 9♂2♀, 7. VII. 1990, TI; 5♂3♀, 21. IX. 1990, TI; 3♂3♀, 同鞍馬山, 27. III. 1982, HO; 18♂22♀, 9. VIII. 1985, TI; 5♂2♀, 28. V. 1994, TI; 1♀, 同貴船, 5. VI. 1989, HO; 24♂24♀, 同大悲山, 30. IV. 1987, TI; 2♂5♀, 19. IX. 1987, TI; 2♂, 同広河原, 23. VII. 1987, TI; 1♂, 同佐々里峠, 23. VII. 1987, TI; 1♀, 同久多尾越, 7. XI. 1999, ST; 4♂5♀, 同大文字山, 27. III. 1988, TI; 14♂10♀, 7. X. 1989, TI; 4♂1♀, 同東山区今熊野, 7. XI. 1999, ST; 17♂28♀, 同伏見区醍醐山, 17. IV. 1994, TI; 1♂2♀, 13. II. 1993, KM; 2♂, 同嵐山(灯火), 16. VI. 1955, TK; 2♂, 同祖父谷, 8. VI. 1954, TK; 12♂8♀, 宇治市東笠取, 14. III. 1993, KM; 6♂5♀, 3. IV. 1994, KM; 9♂7♀, 同炭山, 13. II. 1993, KM; 5♂7♀, 17. IV. 1994, KM; 1♂, 同天ヶ瀬, 18. I. 1997, KM; 1♂1♀, 3. III. 2000, KM; 1♂, 5. IX. 2000, KM; 3♂, 24. XI. 2000, KM; 1♂, 15. VII. 1989, ST; 4♂1♀, 11. IX. 1993, ST; 4♂2♀, 15. IV. 1994, ST; 1♂5♀, 7. V. 1994, ST; 1♀, 11. XI. 1995, ST; 3♂2♀, 2. XII. 1995, ST; 1♂, 18. V. 1996, ST; 1♂4♀, 8. XI. 1997, ST; 3♀, 26. IV. 1997, ST; 1♂3♀, 同五雲峰, 25. VIII. 1990, ST; 1♂1♀, 4. IV. 1993, ST; 1♂5♀, 29. V. 1993, ST; 13♂14♀, 28. VIII. 1993, ST; 2♂1♀, 31. III. 1994, ST; 1♂3♀, 15. V. 1994, ST; 13♂9♀, 16. XII. 1995, ST; 1♀, 13. IV. 1996, ST; 2♂1♀, 15. III. 1997, ST; 1♂5♀, 19. IV. 1997, ST; 2♂2♀, 19. VII. 1997, ST; 1♂2♀, 6. XII. 1997, ST; 3♂, 27. XII. 1997, ST; 1♂, 同宇治川, 27. I. 1996, ST; 1♂5♀, 同仏徳山, 30. XII. 1992, KM; 1♀, 綴喜郡井手町, 3. V. 1996, ST; 5♂2♀, 同宇治田原町鷲峰山, 5. VIII. 1985, TI; 4♂3♀, 15. IX. 1989, TI; 3♂5♀, 相楽郡和東町鷲峰山, 22. XI. 1992, KM; 1♂3♀, 22. X. 1999, KM; 8♀, 16. VI. 2000, KM.

29. *Batrisceniola hiranoi* NOMURA ヒラノアナズアリヅカムシ (図8)

前種と同じく、本州のほぼ全域に分布するが、前種よりも低地に好んで棲息するようである。亀岡市稗田野などから、すでに記録されている。

<採集データ> 1♂, 船井郡瑞穂町大朴, 13. VII. 1996, YH; 1♂, 京都市八瀬, 3. VII. 1957, TK; 4♂6♀, 八幡市男山, 26. I. 1985, TI; 1♂2♀, 1. XII. 1984, TI; 1♀, 10. VIII. 1975, TI; 1♂, 6. XI. 1982, TI; 1♂, 31. VIII. 1985, TI; 2♂, 21. IV. 1984, TI; 2♂1♀, 4. X. 1986, TI; 1

♀, 15. I. 1985, TI; 5♂12♀, 15. XI. 1981, TI; 1♀, 19. I. 1985, TI; 1♀, 7. XII. 1986, TI; 1♂, 4. V. 1996, TI.

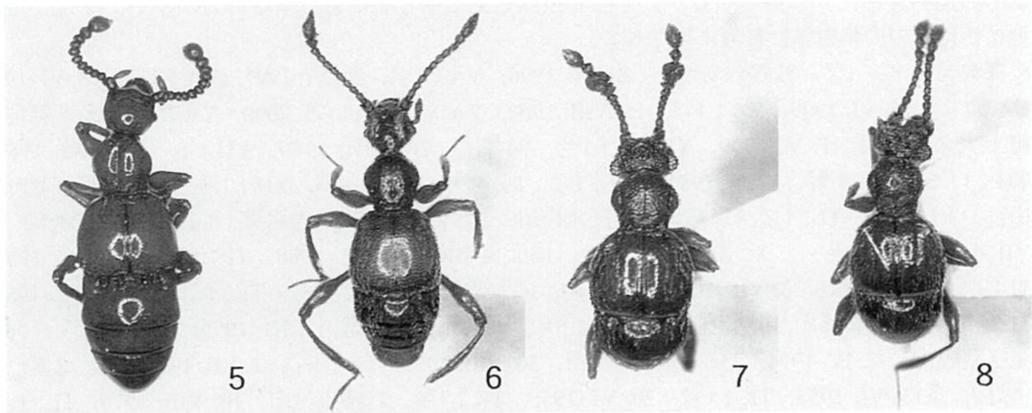


図5-8: 5. エグリチイロアリヅカムシ; 6. ナガムネトゲアリヅカムシ; 7. ガロアフサヒゲアリヅカムシ; 8. ヒラノアナズアリヅカムシ

GONIACERITAE オノヒゲアリヅカムシ上族

30. *Morana discedens* SHARP マメアリヅカムシ*

西日本では平地の常緑樹林に普通の種である。

<採集データ> 1♂, 舞鶴市高野台, 8. IX. 1997, YA; 1♂, 船井郡瑞穂町井尻, 26. VIII. 1989, YH; 2♀, 同小野, 12. V. 1984, YH; 5♂, 亀岡市, 2. XI. 1966, TI; 1♂, 京都市左京区鞍馬山, 9. VIII. 1985, TI; 1♂4♀, 八幡市男山, 11. V. 1980, TI; 2♀, 15. XI. 1981, TI; 1♂, 1. XII. 1984, TI; 3♂30♀, 27. IV. 1985, TI; 1♂15♀, 16. VI. 1985, TI; 1♀, 31. VIII. 1985, TI; 1♂, 4. V. 1996, TI; 3♂1♀, 宇治市天ヶ瀬, 11. IX. 1993, ST; 1♀, 11. XI. 1995, ST; 1♀, 15. VII. 1989, ST; 1♂1♀, 同五雲峰, 28. VIII. 1993, ST; 10♂30♀, 15. V. 1994, ST; 5♀, 25. VIII. 1990, ST; 1♀, 6. XII. 1997, ST; 1♂, 28. V. 1994, ST; 1♂, 相楽郡笠置町笠置山, 3. XI. 1984, TI.

31. *Morana elegans* TANOKUCHI トウカイマメアリヅカムシ* (図9)

関東から近畿地方にかけての太平洋側に偏って分布する。前種と混棲することもあり、雌での区別は微妙だが、頭部の形などで区別することができる。

<採集データ> 1♂, 八幡市男山, 27. IV. 1985, TI; 4♂4♀, 26. V. 1985, TI; 1♂1♀, 18. X. 1986, TI; 5♂6♀, 4. X. 1986, TI; 1♂, 4. V. 1996, TI.

32. *Nipponobythus* sp. 1*

中国地方から関東北部にかけて広く分布し、砂礫の多い土壤中に棲息する。

<採集データ> 1♂, 八幡市男山, 1. XII. 1984, TI; 1♀, 15. I. 1985, TI; 1♀, 26. I. 1985, TI; 1♂, 26. V. 1985, TI; 1♀, 7. XII. 1985, TI; 1♂, 4. X. 1986, TI.

33. *Takaorites* sp. 1*

雄個体がないため、種は特定できていないが、属としては京都から初めての記録である。溪流付近の湿った落ち葉や、砂の多く混じった土壤中に普通に見られる。

<採集データ> 1♀, 船井郡瑞穂町水呑, 23. IV. 1994, YH; 1♀, 京都市左京区大悲山, 30. IV. 1987, TI.

34. *Triomicrus protervus* (SHARP) マルムネアリヅカムシ*

野村(2001)ではなぜか脱落していたが、LÖBL et al. (1998)により、「京都」、京都市左京区八瀬

遊園, 京都市大文字(山?), 同貴船, 同比叡山から記録されている。本種はLÖBL et al. (1998) が示したように, 後胸腹板突起の形状によって東日本型と西日本型の2型に分けられ, 京都付近はその境界線あたりに該当するが, 下記の標本を見た感じでは東日本型の方が多い。平地から山地にかけての広葉樹林に普通に見られる。

<採集データ> 1♂, 舞鶴市高野台, 21. IV. 1996, YA; 1♂, 20. VI. 1997, YA; 1♂, 18. VI. 1998, YA; 1♂, 25. VI. 1999, YA; 1♂, 15. VIII. 1999, YA; 1♂, 14. VI. 2000, YA; 2♂, 船井郡瑞穂町上大久保北山, 1. V. 1999, YH; 1♂1♀, 同井尻, 26. VIII. 1989, YH; 1♀, 23. XI. 1989, YH; 1♂3♀, 同小野, 12. V. 1984, YH; 1♂, 同水呑, 28. X. 1995, YH; 1♀, 北桑田郡京北町周山, 3. XI. 1979, TI; 1♂, 京都市左京区北白川, 26. VI. 1957, 本吉総男; 1♂2♀, 同花脊峠, 4. VII. 1987, TI; 1♀, 2. X. 1987, TI; 2♀, 同大文字山, 27. III. 1988, TI; 1♂2♀, 7. X. 1989, TI; 1♀, 同広河原, 23. VII. 1987, TI; 1♀, 同大悲山, 30. IV. 1987, TI; 1♂1♀, 19. IX. 1987, TI; 1♂3♀, 同鞍馬山, 9. VIII. 1985, TI; 5♀, 同東山区今熊野, 7. XI. 1999, ST; 2♂1♀, 同伏見区醍醐山, 17. IV. 1994, TI; 1♂, 同嵐山, 30. VIII. 1952, TK; 1♂, 1. VII. 1954, TK; 1♂, 同(灯火), 15. VI. 1955, TK; 1♂, 20. VI. 1955, TK; 1♀, 八幡市男山, 10. VIII. 1975, TI; 1♂, 18. I. 1981, TI; 1♀, 31. I. 1981, TI; 1♀, 13. IX. 1981, TI; 2♀, 3. X. 1981, TI; 1♂2♀, 1. XII. 1984, TI; 3♀, 27. V. 1979, TI; 2♀, 6. XI. 1982, TI; 1♂1♀, 15. XII. 1984, TI; 1♂, 19. I. 1985, TI; 1♀, 17. II. 1985, TI; 1♂3♀, 22. II. 1986, TI; 1♂4♀, 18. X. 1986, TI; 1♂2♀, 4. V. 1996, TI; 5♂5♀, 宇治市仏徳山, 23. I. 1993, TI; 1♂3♀, 30. XII. 1992, KM; 1♂1♀, 同天ヶ瀬, 24. XI. 2000, KM; 1♂1♀, 11. XI. 1995, ST; 1♂2♀, 2. XII. 1995, ST; 1♀, 23. III. 1996, ST; 2♂2♀, 7. V. 1994, ST; 1♀, 26. IV. 1997, ST; 1♀, 4. IV. 2000, KM; 1♂, 同五雲峰, 4. IV. 1993, ST; 1♂2♀, 16. XII. 1995, ST; 1♀, 15. III. 1997, ST; 1♂, 21. V. 1994, ST; 1♀, 同東笠取, 23. V. 1993, KM; 1♂, 同炭山, 13. II. 1993, KM; 2♂, 相楽郡和東町鷲峰山, 22. XI. 1992, KM; 1♀, 19. V. 2000, KM; 1♀, 16. VI. 2000, KM; 1♀, 同南山城村野殿, 6. II. 1993, KM; 2♂6♀, 同笠置町笠置山, 23. IX. 1988, TI; 1♀, 2. IV. 1988, TI; 2♀, 3. XI. 1984, TI.

35. *Triomicrus sternalis* LÖBL et al. トガリマルムネアリヅカムシ

雄後胸腹板突起がないなどの特徴で, 前種から区別される。前種よりもやや山地よりの地域に多く見られる。

<採集データ> 1♂, 京都市左京区佐々里峠, 23. VII. 1987, TI; 1♂, 同大文字山, 27. III. 1988, TI; 1♂1♀, 同大悲山, 30. IV. 1987, TI.

36. *Triomicrus sublaevis* RAFFRAY スベマルムネアリヅカムシ

前胸背の点刻は前種より粗く, マルムネよりもまばらである。関東や九州では前種よりも標高の高い地域に産することが多いが, 近畿地方ではむしろ前種よりも分布域の標高が低い。

<採集データ> 1♂, 相楽郡和東町鷲峰山, 16. VI. 2000, KM.

37. *Atenisodus* sp. 1*

台湾から知られるキヒゲアリヅカムシ *A. gracilipalpis* RAFFRAY と近縁, または同種であり, 九州から関東地方にかけて点々と採集されているが個体数は少ない。

<採集データ> 1♂2♀, 八幡市男山, 4. V. 1996, TI; 1♂2♀, 30. IV. 1979, TI; 1♀, 宇治市五雲峰, 4. IV. 1993, ST.

38. *Trissemus alienus* (SHARP) ナミエンマアリヅカムシ

本属の中で最も普通な種で, 山地の溪流から, 河口に近い下流域に至る河川の河原に産する。灯火に良く飛来するが, 本種は雌も発達した後翅をもち, 良く飛翔する点で, 極めて特徴的であり, また採集されやすい。

<採集データ> 1♂, 舞鶴市高野台, 27. VII. 1995, YA; 1♂, 北桑田郡美山町芦生演習林, 7. IX. 1974, KM; 1♀, 京都市左京区久多尾越, 17. V. 1992, ST; 1♀, 同鹿ヶ谷, 31. VIII. 1968, KM; 1♂, 同貴船, -. IX. 1977, 沢井稔; 2♀, 15. IV. 1956, TK・塚本圭一; 1♂1♀, 同鞍馬山, 22. IV. 1956, TK; 1♂, 22. IV. 1956, TK; 2♀, 同西京区西芳寺, 23. III. 1956, TK; 1♀, 同保津峡, 10. V. 1954, TK; 1♂, 同八瀬, 5. VIII. 1957, TK; 1♀, 同桂, 29. III. 1947, 採集者不明; 1♂, 同嵐山, 1. VI. 1951, TK; 1♀, 19. VII. 1951, TK; 1♀, 13. VII. 1953, TK; 1♀, 21. VI. 1954, TK; 1♂, 29. V. 1955, TK; 1♂, 15. VI. 1955, TK; 1♀, 16. VI. 1955, TK; 2♀, 20. VI. 1955, TK; 1♀, 2. VI. 1956, TK; 1♂, 26. VI. 1956, TK; 1♂, 相楽郡笠置町笠置山, 3. XI. 1984, TI; 1♂2♀, 綴喜郡井手町, 23. IX. 1990, ST; 1♂, 5. VII. 1981, ST.

39. *Trissemus curtus* (SHARP) ヒゲブトエンマアリヅカムシ

海岸近くの草地に棲息する。「京都」からすでに記録されているが、詳しい産地は不明であった。

<採集データ> 1♂, 舞鶴市高野台, 11. VIII. 1999, YA.

40. *Rybaxis princeps* SHARP ダイコクアリヅカムシ*

湿地やそれに連続する疎林の落葉土中に発見され、本州から九州にかけての広い範囲に分布する。

<採集データ> 2♂, 船井郡瑞穂町上大久保北山, 1. V. 1999, YH; 1♀, 同井尻, 2. VII. 1989, YH; 1♀, 八幡市男山, 26. VIII. 1984, TI.

※ *Rybaxis* sp.

<採集データ> 1♀, 舞鶴市神崎海水浴場, 21. XII. 2000, 安川謙二.

41. *Bryaxis sauteri* RAFFRAY ザウターオノヒゲアリヅカムシ

Hans SAUTERにより、静岡県三島市山中から採集されたものがタイプとなっている。中部地方から近畿地方にかけて広く見られ、雄触角第2節が内側に突出する、前胸背は強くしわ状、等の特徴により、他の種から容易に区別することができる。

<採集データ> 1♂1♀, 京都市左京区花脊峠, 4. VII. 1987, TI; 1♀, 4. IX. 1987, TI; 1♀, 同鞍馬山, 9. VIII. 1985, TI; 1♀, 宇治市五雲峰, 4. V. 1993, ST; 1♀, 16. XII. 1995, ST; 1♂, 同天ヶ瀬, 8. V. 2000, KM.

42. *Bryaxis karate* LÖBL et al. カラテオノヒゲアリヅカムシ

本種と、カタナ、ホコ、タントウ、ナギナタの4種は、互いに雄交尾器の形態が非常に類似しており、区別の難しい種群である。本種のタイプ産地は京都市左京区芦生峠である。

<採集データ> 2♂2♀, 北桑田郡美山町芦生演習林, 21. X. 1990, HO; 1♂1♀, 同京北町周山, 3. XI. 1979, TI; 1♂, 京都市左京区花脊峠, 4. IX. 1987, TI.

43. *Bryaxis katana* LÖBL et al. カタナオノヒゲアリヅカムシ* (図10)

前種に似るが、やや大型で、雄触角第2節内側の突起が著しい。本種は四国石鎚山から記載されたもので、本州からははじめての記録である。前種との関係に興味を持たれる。

<採集データ> 1♀, 宇治市五雲峰, 15. V. 1994, ST; 1♂, 16. XII. 1995, ST; 1♂, 4. IV. 1993, ST; 1♂4♀, 13. IV. 1996, ST; 2♂3♀, 8. II. 1997, ST; 1♂, 宇治市天ヶ瀬, 8. XI. 1997, ST; 1♂, 25. VI. 1994, ST.

44. *Bryaxis gracilipalpis* JEANNEL トサオノヒゲアリヅカムシ* (図11)

ヤマトオノヒゲアリヅカムシ *B. japonicus* SHARPに酷似するが、雄交尾器のサイズと形状が著しく異なっている。ススキ草原など開けた環境を好むもののようなのだが、森林のリターからも得られる。

<採集データ> 1♂, 舞鶴市高野台, 24. V. 1994, YA; 1♂, 26. VI. 1994, YA; 1♂, 22. VI. 1996, YA; 1♂, 15. VI. 1999, YA; 1♀, 八幡市男山, 15. XI. 1981, TI; 1♂1♀, 25. XI. 1984, TI; 14♂10♀, 15. I. 1985, TI; 2♂4♀, 19. I. 1985, TI; 3♀, 26. I. 1985, TI; 1♀, 26. V. 1985, TI; 5

- ♂6♀, 16. VI. 1985, TI; 1♀, 31. VIII. 1985, TI; 1♂1♀, 7. XII. 1985, TI; 7♂2♀, 4. X. 1986, TI; 2♂, 18. X. 1986, TI; 7♂4♀, 6. XII. 1986, TI; 2♂, 綴喜郡井手町, 23. IX. 1990, ST; 1♂1♀, 29. IV. 1996, ST.
45. *Bryaxis frontalis* JEANNEL ナガオノヒゲアリヅカムシ
西日本の低山地森林に普通。
〈採集データ〉1♂, 北桑田郡京北町周山, 3. XI. 1979, TI; 1♀, 京都市左京区花脊峠, 4. IX. 1987, TI; 1♀, 同佐々里峠, 23. VII. 1987, TI; 1♀, 同貴船, 28. III. 1956, TK; 1♀, 八幡市男山, 26. I. 1985, TI; 1♀, 9. VIII. 1985, TI; 1♀, 4. X. 1986, TI; 1♂, 18. X. 1986, TI.
46. *Bryaxis sawadai* LÖBL et al. サワダオノヒゲアリヅカムシ
「京都」, および京都市北区大文字山からすでに報じられている。
〈採集データ〉1♂, 八幡市男山, 25. XI. 1984, TI; 1♂, 19. I. 1985, TI; 1♂, 11. II. 1985, TI; 1♂, 16. VI. 1985, TI.
47. *Bryaxis humilis* RAFFRAY エクボオノヒゲアリヅカムシ
「京都」からすでに知られている。河川敷のススキ草原などに棲息する。
〈採集データ〉1♂, 舞鶴市高野台, 10. VIII. 1995, YA.
48. *Bryaxis reversus* SHARP ミフシオノヒゲアリヅカムシ
長崎から記載された種で, 近畿以西の西日本に広く分布する。
〈採集データ〉1♂, 舞鶴市高野台, 7. VII. 1995, YA.
49. *Bryaxis extremalis* KURBATOV チシマオノヒゲアリヅカムシ
前種に非常に近縁な種であるが, 雄交尾器の形状で明瞭に区別することができる。前種と異なり, 南千島から北海道および本州の東半分に分布する。これら2種はいずれも京都府内から記録されているが, 京都付近が2種の入れ替わる境界線に当たっているようだ。
〈採集データ〉1♂1♀, 北桑田郡美山町芦生演習林, 21. X. 1990, HO.
50. *Bryaxis* sp. 1*
やや小型で雄の触角第2節に特徴のある顕著な未記載種である。雄交尾器の構造も他の種とは著しく異なっている。
〈採集データ〉1♂1♀, 船井郡瑞穂町小野, 16. IV. 1987, YH; 1♀, 同水呑, 23. IV. 1994, YH; 1♂1♀, 北桑田郡美山町芦生演習林, 21. X. 1990, HO; 1♂, 京都市左京区佐々里峠, 23. VII. 1987, TI; 4♀, 同大悲山, 30. IV. 1987, TI.
51. *Bryaxis* sp. 2*
1雌のみ採集されているが, 小型で, 前胸背にほとんど点刻がないという著しい特徴をもつため, 未記載種と判断した。
〈採集データ〉1♀, 船井郡瑞穂町, 14. V. 1994, YH.
52. *Tainochus insulicola* (NOMURA et LEE) シマムクゲアリヅカムシ*
本州のほぼ全域と韓国济州島に分布する。
〈採集データ〉1♂, 八幡市男山, 10. VIII. 1975, TI; 1♀, 宇治市五雲峰, 19. VII. 1997, ST; 1♂, 相楽郡精華町祝園, 22. V. 2000, KM.
53. *Tychus dichotomus* NOMURA et LEE タイリクモリアリヅカムシ*
本州, 九州, 対馬, 韓国本土, 济州島に分布する。海岸のクロマツ林など, やや乾燥した単調な林の落葉中に見られる。
〈採集データ〉1♂, 京都市東山区今熊野, 7. XI. 1999, ST; 1♀, 宇治市天ヶ瀬, 23. III. 1996, ST.

PSELAPHITAE ヒゲナガアリヅカムシ上族

54. *Pselaphus*? sp. 1*

野村・櫻井(1998)では, *Tyraphus nitidus* RAFFRAYと同定して図示しているが, これは誤同定で, *Tyraphus* ではなく, *Pselaphus* 属に近縁なものである. 極めて珍しい種で, 他に山形, 新潟などから得られているが, いずれも灯火で採集されたものらしく, 生息環境は不明である.

<採集データ> 1♂, 舞鶴市高野台, 8. VIII. 1999, YA.

55. *Pselaphogenius tridentatus tridentatus* K. SAWADA タカネヒゲナガアリヅカムシ* (図12)

本属は雄交尾器に著しい種差および地域変異が現れるが, 外見上はほとんど区別できないことが多い. 従来, 京都府からは *P. paradoxus paradoxus* サイゴクヒゲナガのみが知られていた. 新たに見いだされた本種は, 関東北部から近畿地方にかけての高い山地に島状に分布する種である. 近畿では他に滋賀県伊吹山から得られており, 雄交尾器の形状もこれに一致する. NOMURA (2001c) は本種とカギヒゲナガ *P. orientalis* BESUCHET の記録を総括し, 分布について詳しく論じたが, 京都の記録については収録できなかった. 以下の記録は, 種の西限にあたるとともに, 海拔1000m以下の低い地域から得られたのも異例のことである.

<採集データ> 1♂1♀, 京都市左京区広河原, 23. VII. 1989, TI.

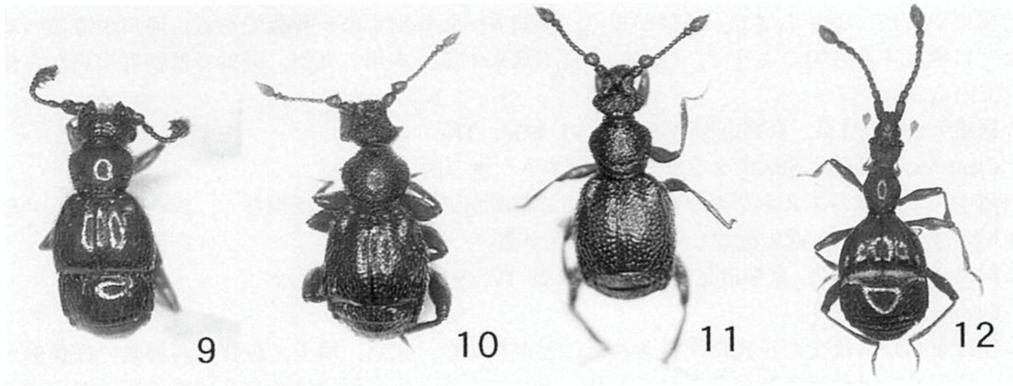


図9-12: 9. トウカイマメアリヅカムシ; 10. カタナオノヒゲアリヅカムシ; 11. トサオノヒゲアリヅカムシ; 12. タカネヒゲナガアリヅカムシ

56. *Pselaphogenius spinifer spinifer* K. SAWADA トゲヒゲナガアリヅカムシ (和名新称)*

本種と次種は近畿地方中部に分布. いずれも雄交尾器の形態に著しい地域変異が認められる本種原名亜種は大阪, 滋賀, 奈良の各府県から知られていたが, 京都府からははじめての記録となる. 亜種 *uncinatus* が大阪府和泉葛城山から, 亜種 *tuberculipenis* が奈良県大峰山塊から知られている.

<採集データ> 1♂, 北桑田郡美山町芦生演習林, 21. X. 1990, HO; 1♂3♀, 京都市左京区鞍馬山, 9. VIII. 1985, TI; 3♂2♀, 同伏見区醍醐山, 17. IV. 1994, TI.

57. *Pselaphogenius yosii hamatus* K. SAWADA ヨシイヒゲナガアリヅカムシ (奈良京都亜種) (和名新称)*

原名亜種は奈良県大台ヶ原と弥山から知られる. 本亜種は奈良県吉野山がタイプ産地で, 他に大峰山塊数カ所でも採集されている. 別亜種 *seculiger* は和歌山県護国寺山, 荒神岳から記載されている.

<採集データ> 1♂2♀, 京都市左京区佐々里峠, 23. VII. 1987, TI; 1♂, 同花脊峠, 4. IX. 1987, TI.

58. *Poroderus similis* (SHARP) ススキキシヒゲアリヅカムシ*

和名の通り、ススキ草原に棲息する種である。雌雄共に後翅をもち、灯火によく飛来する。

<採集データ> 1♀, 舞鶴市高野台, 10. VIII. 1995, YA; 1♀, 13. IX. 1997, YA; 1♂, 6. V. 1998, YA; 1♀, 3. VI. 1999, YA; 1♂, 6. VI. 1999, YA; 1♀, 11. VIII. 1999, YA; 1♂, 15. VIII. 1999, YA; 1♂, 28. VI. 2000, YA; 1♂, 京都市保津峡, 30. VI. 1953, TK; 1♀, 24. VI. 1953, TK; 1♀, 同嵐山(灯火), 4. IX. 1956, TK; 1♀, 19. VI. 1956, TK; 1♀, 同嵐山, 18. VIII. 1952, Y. K; 1♂, 綴喜郡井手町, 23. IX. 1990, ST; 4♂5♀, 同木津川, 12. III. 1962, 山本博康。

59. *Poroderus medius* (SHARP) ツヤクキシヒゲアリヅカムシ(和名改称)* (図13)

従来、「クキシヒゲツヤアリヅカムシ」と呼ばれていたが、和名語尾を統一するため、上記のように改称したい。なお、「カギクチヒゲアリヅカムシ」と呼ばれていた、同属の*P. armatus* (SHARP) も、同じ理由により、「カギクキシヒゲアリヅカムシ(和名改称)」としたい。このような措置は、和名のシノニムを作ってしまう問題をはらんでいるが、混乱を避けるため、各方面のご理解を頂きたいと思う次第である。

<採集データ> 1♂, 舞鶴市高野台, 12. VIII. 2000, YA; 1♀, 北桑田郡美山町芦生演習林, 4. VII. 1975, ST。

60. *Sognorus breviceps* (SHARP) ヒメクキシヒゲアリヅカムシ(和名新称)*

前属に似るが、より小型で、頭部が短く、後側方へ張り出すのが特徴である。河川中流域の草地などに棲息するもののようで、灯火にも良く飛来する。本州、九州、国外では朝鮮半島から知られている。

<採集データ> 1♂, 京都市保津峡, 30. VI. 1953, TK。

61. *Ctenistes oculatus* SHARP クキシヒゲアリヅカムシ* (図14)

河川中～下流域のススキ草原などに棲息する種であるが、個体数は少なく、珍種に属する。自然河岸の減少により、近年激減している可能性が高い。

<採集データ> 1♂, 京都市北区深泥ヶ池, 28. IV. 1974, 今坂正一。

62. *Odontalgus* sp. 1*

本属は日本からはまだ正式に記録されたことがないが、東京、埼玉、佐賀の各都県で採集例がある。埼玉県では最近多数発見されており、それによると生息環境はかなり植被の薄い河川中流域の河原である。以下の記録もそのような環境から採集された可能性が高いが、再確認が望まれる。

<採集データ> 2♀, 綴喜郡井手町木津川, 19. III. 1962, 山本博康。

63. *Raphitreus speratus* SHARP ヒゲブトエクボアリヅカムシ* (図15)

九州などでは朽木樹皮下などから採集され、あまり普通な種ではないが、なぜか近畿地方では、常緑樹林の落葉中からごく普通に採集される。

<採集データ> 1♂, 京都市左京区比叡山, 29. IV. 1957, TK; 1♀, 宇治市天ヶ瀬, 9. VI. 1979, ST; 1♀, 10. V. 1997, ST; 1♀, 同五雲峰, 4. II. 1996, ST; 2♂, 13. VII. 1996, ST。

64. *Tmesiphorus princeps* SHARP*

ヒゲカタアリヅカムシ*T. crassicornis* SHARPに酷似し、同種である可能性もあるので、あえてここでは和名を命名しない。クロクサアリなどのコロニー中に発見される、好蟻性の種である。

<採集データ> 1♂, 北桑田郡美山町芦生演習林, 4. VII. 1975, ST。

65. *Lasinus monticola* K. SAWADA ヤマオオトゲアリヅカムシ

本州、四国、九州に広く分布する。平地～低山地の森林落葉中に普通に産し、個体数も多い。松林や二次林に多く見られる傾向がある。

<採集データ> 1♂, 船井郡瑞穂町水呑, 28. X. 1995, YH; 1♀, 京都市左京区貴船, -. VI. 1952,

石田裕; 1♂1♀, 同鞍馬山, 9. VIII. 1985, TI; 1♂, 同花脊峠, 20. X. 1987, TI; 1♂, 6. XI. 1989, TI; 1♀, 同大悲山, 30. IV. 1987, TI; 1♂, 19. IX. 1987, TI; 1♂1♀, 同伏見区醍醐山, 17. IV. 1994, TI; 3♂1♀, 13. II. 1993, KM; 1♂, 同保津峡, 10. V. 1954, TK; 1♀, 同大原, 8. VII. 1956, TK; 3♂2♀, 宇治市仏徳山, 23. I. 1993, KM; 2♂5♀, 30. XII. 1992, KM; 3♂, 同東笠取, 14. III. 1993, KM; 2♀, 3. IV. 1994, KM; 1♂1♀, 同炭山, 13. II. 1993, KM; 1♀, 17. IV. 1994, KM; 1♀, 同五雲峰, 25. VIII. 1990, ST; 1♀, 19. IV. 1997, ST; 1♂, 21. VI. 1997, ST; 2♂, 30. V. 1998, ST; 1♂, 同天ヶ瀬, 11. IX. 1993, ST; 1♀, 7. V. 1994, ST; 2♀, 11. XI. 1995, ST; 1♀, 23. III. 1996, ST; 1♀, 宇治市天ヶ瀬, 6. IV. 1996, ST; 2♂3♀, 綴喜郡宇治田原町鷲峰山, 5. VIII. 1985, TI; 2♂1♀, 相楽郡和束町鷲峰山, 22. XI. 1992, KM; 2♂, 同笠置町笠置山, 2. IV. 1988, TI.

66. *Lasinus* sp. 1*

JEANNEL (1958) のモノグラフや, SAWADA (1961) で, *L. spinosus* SHARP とされている種は, 実は未記載種であることが, タイプ標本の調査で判明した. 真の *spinosus* は九州に産し, 本種は本州に広く分布する. 前種とは形態ばかりでなく, 棲息環境も似ており, しばしば混棲する.

<採集データ> 2♂, 船井郡瑞穂町大朴, 13. VII. 1996, YH; 2♂1♀, 同上大久保北山, 1. V. 1999, YH; 3♀, 京都市左京区鞍馬山, 27. V. 1979, 正木清; 1♂3♀, 八幡市男山, 4. V. 1979, TI; 1♂8♀, 29. IV. 1980, TI; 1♂1♀, 15. XI. 1981, TI; 2♂, 3. X. 1981, TI; 3♂1♀, 13. IX. 1981, TI; 1♂1♀, 6. XI. 1982, TI; 4♂1♀, 28. XI. 1982, TI; 1♂, 26. VIII. 1984, TI; 1♂, 21. IV. 1984, TI; 1♀, 15. I. 1985, TI; 1♂, 17. II. 1985, TI; 1♀, 11. II. 1985, TI; 3♀, 27. V. 1979, TI; 2♀, 6. XI. 1982, TI; 2♂1♀, 19. I. 1985, TI; 2♀, 16. III. 1985, TI; 2♂2♀, 23. XI. 1986, TI; 1♂4♀, 18. X. 1986, TI; 1♂1♀, 22. II. 1986, TI; 2♂3♀, 宇治市仏徳山, 23. I. 1993, TI; 2♂1♀, 同天ヶ瀬, 18. I. 1997, KM; 1♂, 2. VI. 2000, KM; 1♂, 26. VI. 2000, KM; 1♂, 13. X. 2000, KM; 1♂, 24. XI. 2000, KM; 1♂1♀, 綴喜郡宇治田原町鷲峰山, 5. VIII. 1985, TI; 1♂, 相楽郡和束町鷲峰山, 22. XI. 1992, KM; 6♂6♀, 同笠置町笠置山, 3. XI. 1984, TI; 7♂4♀, 2. IV. 1988, TI; 22♂17♀, 23. IX. 1988, TI; 1♂1♀, 相楽郡精華町祝園, 20. VI. 2000, KM.

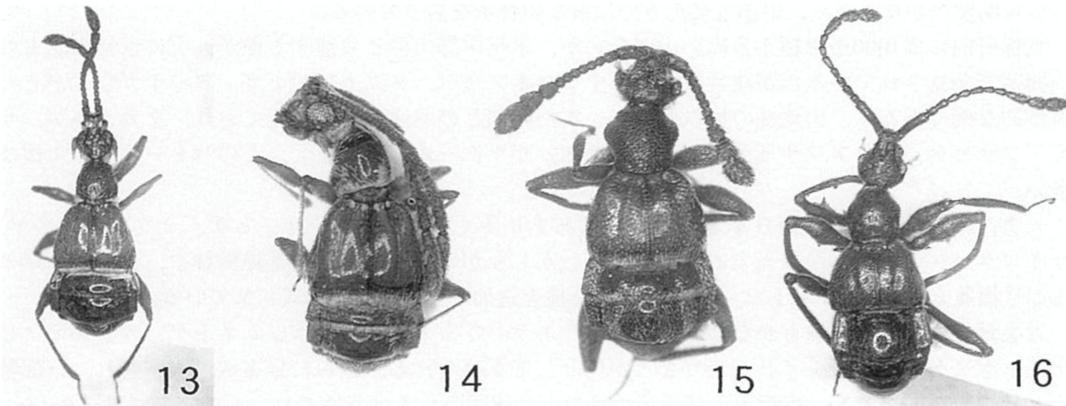


図13-16: 13. ツヤクシヒゲアリツカムシ; 14. クシヒゲアリツカムシ; 15. ヒゲブトエクボアリツカムシ; 16. アシナガアリツカムシ

67. *Labomimus reitteri* SHARP アシナガアリツカムシ* (図 16)

東北地方から中部地方にかけて, 山地のブナ帯に多く見られる種で, 従来, 愛知県あたりまで分布が確認されていた. 以下の記録は西限の記録となるが, 雌個体のみなので, 雄個体による確認が必要である.

<採集データ> 1♀, 京都市左京区佐々里峠, 23. VII. 1987, TI; 1♀, 同大悲山, 19. IX. 1987, TI.
68. *Tyrus* sp. 1*

本属は日本から, *T. japonicus* SHARPのみが知られているが, 東北地方から琉球列島にかけて未記載種が数種分布する.

<採集データ> 1♂, 京都市左京区貴船, 21. IV. 1949, 野淵 輝.

69. *Tyrus* sp. 2*

<採集データ> 1♂2♀, 京都市左京区花脊~雲取山, 25. IX. 1977, ST; 2♂1♀, 同久多尾越, 3. VI. 1990, ST; 1♂, 27. V. 1990, ST; 1♂1♀, 宇治市仏徳山, 30. XII. 1992, KM; 1♂, 同五雲峰, 12. IV. 1997, ST; 1♂, 相楽郡笠置町笠置山, 2. IV. 1988, TI.

CLAVIGERITAE ヒゲブトアリヅカムシ上族

70. *Diartiger fossulatus ispartae* (KARAMAN) コヤマトヒゲブトアリヅカムシ (中部近畿亜種)

顕著な種で, 京都市内, 瑞穂町などからすでに記録されている.

<採集データ> 1♀, 舞鶴市西方寺, 17. IV. 2000, 安川謙二; 2♂1♀, 船井郡瑞穂町上大久保北山, 1. V. 1999, YH; 1♀, 京都市左京区大悲山, 30. V. 1953, TK; 1♀, 28. IV. 1974, KM; 1♂, 30. IV. 1987, TI; 8♂9♀, 同花脊峠, 30. IV. 1987, T; 1♀, 同右京区西京極, 27. IV. 1974, HO?; 1♀, 八幡市男山, 5. III. 1988, TI; 1♂1♀, 19. I. 1985, TI; 1♂, 宇治市天ヶ瀬, 11. IX. 1993, ST; 1♂, 11. XI. 1995, ST; 2♀, 26. VI. 2000, KM; 2♀, 13. X. 2000, KM; 1♀, 24. XI. 2000, KM; 1♂, 同五雲峰, 28. V. 1994, ST; 1♂, 28. VIII. 1993, ST; 1♀, 宇治市五雲峰, 8. II. 1997, ST; 4♂8♀, 綴喜郡井手町, 3. V. 1996, ST; 1♂3♀, 相楽郡笠置町笠置山, 2. IV. 1988, TI; 1♂, 3. XI. 1984, TI.

3. 京都府のアリヅカムシ概観

上に示した70種のうち, *印で示した45種は, 野村(2001)のリストにはあげられていない. 従って, 従来記録のある42種と合わせて87種が京都府内から記録されることとなった. これは全国的にも解明度がかなり高く, 中部近畿地方では最多の種数を誇っている.

京都府内には1000mを超える高い山がないが, 本州中部山岳と共通する種が, 主に京都市北方の山間部で発見されている点が注目される. チシマオノヒゲ, タカネヒゲナガ, アシナガなどがその典型的な例であろう. 山地性の種以外でも, 本州中部との共通性が際だっており, タカオトゲ, サガミフサヒゲ, ガロアフサヒゲ, トウカイマメ, ザウターオノヒゲなど, このパターンを示す種は多い.

一方, 中国地方以西の西日本と共通の種はあまり多くない. カタナオノヒゲ, ミフシオノヒゲ, サイゴクヒゲナガなどが該当するであろう. しかしながら, 南部低地の常緑樹林や, 日本海沿岸の海岸性樹叢を調査することによってそのような種を追加できる可能性は残されている.

近畿地方に特徴的な種もかなり認められる. エラハリムネトゲ, ササジムネトゲ, カラテオノヒゲ, トゲヒゲナガ, ヨシイヒゲナガなどが例としてあげられる. さらに分布域が限定され, 京都特産とは言えないまでも, 京都および近接地域のみに限局される可能性の高いものとしては, *Batrisedes (Excavodes)* sp. 1や, *Petaloscapus* sp. 1, キョウトカマヒゲなどがあげられるであろう.

生息環境の観点から見ると, 最も多くの種を擁すると考えられる樹林落葉層(リター)の種はよく調べられており, 普通種はほぼ出そろっている. また, 京都のファウナで特徴的なのは, 河川流域の草原や湿地に棲息する種が非常に充実していることである. これは, 荒田弥五郎氏をはじめとして, 灯火採集によるアリヅカムシの採集が丹念に行われた賜であろう.

その一方で、まだ調査する余地のある生息環境もいくつかあげられる。その一つは、朽木や倒木の樹皮下、さらにはそこに営巣されたアリの巣などである。そのような環境に棲息する種 (*Batriscema*, *Tribasodes* など) が、このリストではかなり抜け落ちている。また、地下浅層や溪流そばの湿った落ち葉にすむような種 (*Takaorites*, *Bythiotes*) もあまり含まれていない。河口の植物群落 (モモコブ, アシベ, ツヤマルムネ) やミズゴケ湿原 (エビス, *Rybaxis*), 石灰洞 (*Bythoxenites*, *Bythiotes*) など、特殊な環境に限定して現れる種についてもチェックを要するだろう。

そのようなバラエティに富んだ採集を行うことによって、京都府のアリヅカムシは100種を超えることが可能と思われる。地元研究家の更なる健闘を期待したい。

引用文献

- JEANNEL, R., 1958. Révision des Pselaphides du Japon. Mém. Mus. Hist. nat., Paris, (A), 18: 1-138.
- LÖBL, I., S. A. KURBATOV and S. NOMURA, 1998a. A revision of the genus *Triomicrus* SHARP (Coleoptera, Staphylinidae, Pselaphinae). Bull. natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A, 24: 69-105.
- NOMURA, S., 2001a. Taxonomical notes on *Petaloscopus temporalis* JEANNEL, stat. nov. and its new allied species (Staphylinidae, Pselaphinae) from Honshu and Shikoku, Japan. Spec. Bull. Japan Coleopt. Soc., Osaka, (1): 309-316.
- NOMURA, S., 2001b. Taxonomical review and a list of the pselaphine species known from Japan (Staphylinidae, Pselaphinae). Elytra, Tokyo, 29 (1): 141-160.
- NOMURA, S., 2001c. A taxonomic revision of the Japanese species of the genus *Pselaphogenius* (Coleoptera, Staphylinidae, Pselaphinae) part 3. Species from central Honshu. Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo, (37): 179-291.
- 野村周平, 2001. 京都府下から記録されたアリヅカムシについて. ねじればね, (95): 1-8.
- 野村周平・櫻井俊一, 1998. 山形県のアリヅカムシ (鳥海山秋田県側を含む). 山形昆虫同好会誌, (27): 1-10.
- SAWADA, K., 1961. Neue Pselaphinen von Japan (3 Beitrag). Ent. Rev. Japan, 12 (2): 41-44.



野村周平(のむら・しゅうへい)

国立科学博物館動物研究部昆虫第2研究室。1962年佐賀県生まれ。1989年九州大学大学院農学研究科博士後期課程単位取得退学。1990年農学博士号取得。1990～1995年九州大学農学部助手を経て1995年より現職。専門分野；アリヅカムシなどハネカクシ類の分類、系統、生態学。



水野弘造(みずの こうぞう)

1937(昭和12)年、広島市生れ。岡山県育ち。京都大学工学部工業化学科1962年修士課程卒。化学会社勤務を定年退職して今年は虫寿(64歳)、虫三昧の生活を謳歌している。特に興味をもつ対象は、カミキリとナガクチキ、ナガクチキの中でノミガタナガクチキやハネナシナガクチキを探りたいがため、落葉篩いに手を染めた。今回は落葉の副産物のアリヅカムシを野村周平さんが評価して、私をアリヅカムシ屋扱いしてくれたが、全くの門外漢である。アリヅカがせめて5mmの大きさであれば話は別であったかもしれない。

(のむら しゅうへい・みずの こうぞう)

訂正

「ねじればね」99号(2002. 3. 25発行), p.6, 表1中、イセオサムシとミカワオサムシの核ITS DNAが、i と記されていますが、a の誤りです。

(富永, 柏井, 蘇, 大澤)

会 報

発行 : 2002. 06. 30. 日本甲虫学会 (会長 佐々治寛之)
(本部) 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館・昆虫研究室気付
振替口座: 00990-8-39672 URL: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/jcs.html>
Tel: 06-6697-6221 Fax: 06-6697-6225 E-mail: shiyake@mus-nh.city.osaka.jp

昆虫学評論原稿送付先 (英文)
〒563-0104 大阪府豊能郡豊能町光風台5-3-5
安藤清志 Tel. 0727-38-1012
〒666-0116 川西市水明台 3-1-73 林 靖彦 Tel. 0727-93-3712 (学会事務局)
E-mail: hayashiy@silver.ocn.ne.jp

ねじればね原稿送付先 (和文, E-mailでの投稿を歓迎します)
〒611-0002 宇治市木幡熊小路 19-35 水野弘造 Tel.(Fax) 0774-32-4929
E-mail: kzmizuno@oak.ocn.ne.jp
〒614-8371 八幡市男山雄徳 8 E7-303 伊藤建夫 Tel.(Fax) 075-983-3491
E-mail: itokyoto@gb3.so-net.ne.jp

入会及び会費問合せ先 (年会費 5,000 円, 入会金は不要)
〒590-0144 堺市赤坂台 1-18-5 野村英世 Tel. 0722-98-4066